

評価の着眼点

1 企画力

＜最適な手法を決定するための企画力＞

- ・ 国内および企業団の水道事業の現状を認識し、本業務の目的を理解しているか。
- ・ 想定されるPPP／PFI手法の選択肢が整理・検討されているか。
- ・ 民間意向調査方法の提案は、民間事業者の関心を高め、有益な回答を得るためのものになっているか。
- ・ 民間意向調査で確認する事項・視点について、専門家ならではの効果的な提案となっているか。

2 実施体制

＜実施体制に関する実務能力＞

- ・ 業務内容が確実に遂行できるよう、官民連携導入検討業務またはアドバイザリー業務などに従事した経験を有する官民連携手法等に関する専門家（法務、財務及び技術的分野）が適切に配置され、円滑かつ効率的に業務を遂行することができる体制になっているか。

3 実績

＜類似業務に関する履行実績＞

- ・ 本業務を履行するうえで、類似した業務実績（浄水場施設整備、運転管理の官民連携業務及び浄水場施設の設計業務など）がどれだけ豊富にあるか。